

# SAP Project Manager育成トレーニング リモート対応

一般的にプロジェクト・マネージャー(PM)に求められる資質とは、**技術スキル、ビジネス・スキル、パーソナリティ**の3つであると言われています。本トレーニングでは特にプロジェクト管理に必要とされる「**技術スキル**」について集中的に学習いただきます。SAP社の次世代ERPと言われるSAP S/4HANAの導入プロジェクトを対象に、プロジェクトマネジメントの要点を習得することが目的です。

受講対象者:

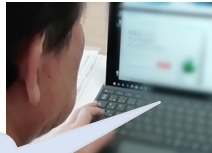
- 1) SAP ECG の知識をお持ちの方で、今後S/4HANA 導入のプロジェクトマネージャーを目指している方
- 2) SAP導入プロジェクトのメンバーとしてプロジェクト管理サポート業務(PMO)を担当する方
- 3) Non-SAPエリアから、今後SAPプロジェクト管理(プロマネ、PMO等)に参画する予定の方

講習はリモートでの開催となります。オンラインツールとして ZOOM を使用

事前知識: 標準的なプロジェクト管理の基本(PMP等)、または同等の知識が望ましい

受講期間: 1日

受講費用: 98,000円

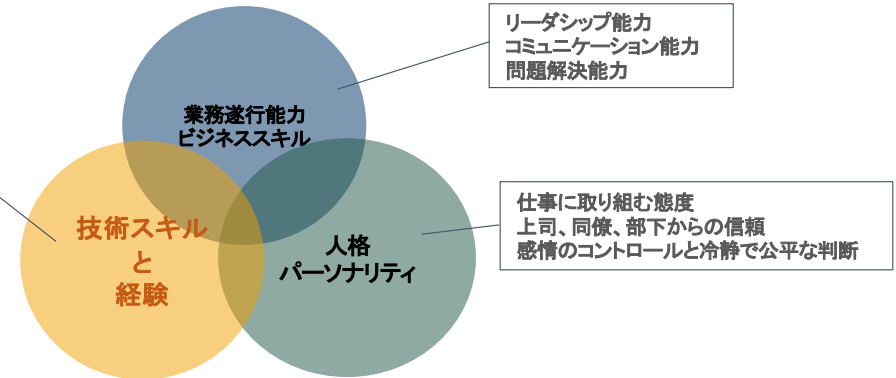


ご自身のPCを使って  
離れた場所から  
リモートでトレーニング受講!

製品の技術的な知識  
導入プロジェクトの経験  
プロジェクト管理の知識

本トレーニングの対象

PMとして必要な3つの素質



# SAP Project Manager育成トレーニング コース・スケジュール

## 【1日のリモート・トレーニング・カリキュラム】

朝9時半から夕方17時迄。途中1時間のお昼休憩を含みます。  
トレーニングの進捗によって時間が前後する可能性があります。

トレーニング / コース・スケジュール概要	1 日間
SAP S/4HANAの導入に最適化された新しい導入支援フレームワーク 短期導入を可能にするための新しい導入方法論について習得	9:30 - 16:30
SAP Activate が目指すもの	
Activate導入フェーズの考え方	
参照型ソリューションを最大限に活用	
Activateが提供するツールとアクセラレータについて	
アジャイル手法で変わるプロジェクト管理 従来からの伝統的なウォーターフォール型との違いについて習得	
Fit-to-Standard アプローチについて	
アジャイル手法によるプロジェクト管理	16:30 - 17:00
Q & A	

上記カリキュラムは現時点での予定で内容は適宜更新される場合があります。

- ◆ トレーニングに含まれるもの
  - ・ トレーナー（講師）によるレクチャー
  - ・ トレーニングテキストブック（PDF にてお渡しいたします）
- ◆ お客様にご用意いただくものはご自身のPCとインターネット接続環境および筆記用具となります。

## 担当講師について

25年以上にわたってアメリカ企業や日系企業の海外展開等においてITコンサルタントやSAPプロジェクトマネージャーの経験を積んだ講師が現場の経験を交えてご説明します。



\*実際にはリモートでの開催になります。

## SAP Project Manager育成トレーニング FAQ

これまでの受講者から特にご質問の多かったものをFAQとして纏めてみました。参加される前に必ずご一読頂くようお願いします。

Q1: このトレーニングの主旨及び目的は何ですか？

A1: 当コースは PMP のような一般的なプロジェクト管理の基礎を学ぶトレーニングではありません。SAP S/4HANA の導入を迅速且つ低リスクで行う事を主眼に、従来の導入方法論(ASAP)と S/4HANA 向けに最適化された新たな方法論との違いを理解し「SAP に特化した」導入プロジェクト管理に求められる知識を身に付けて頂くことを目的としています。

Q2: PMP などの一般的なプロジェクト管理の知識は持っていますが、改めてこのトレーニングを受ける意義はどこにありますか？

A2: 一般的なプロジェクト管理の知識提供内容には導入対象プロダクトは特定されていないのが普通です。当コースは SAP プロダクト(S/4HANA 等)に特化した内容になっており、SAP プロダクト特有の考慮点、導入フェーズでのチェックポイントなどが習得出来るように構成されています。同時に SAP が推奨する新しい導入方法論 SAP Activate のコンセプトを理解することで Fit-to-Standard をベースとした導入の際の考慮点が把握できると思います。

Q3: SAP Activate とはどのようなものですか？ 又、S/4HANAの導入に際しては絶対に必要なものですか？

A3: SAP Activate は SAP プロダクト導入の迅速化と導入に伴うリスクの低減を目的に新しく開発された導入支援フレームワークです。基本的なコンセプトとして、参照ソリューション(SAP Best Practice)の適用を前提とした導入方法論となっています。SAP Activate は導入に際して絶対に必要というわけではありません。しかし、Activate が提供するアクセラレータや、プロジェクトの各フェーズやワークストリームで使用する標準テンプレート(チェックリスト類)等、プロジェクト管理上有効と思われるコンテンツが含まれており、又開発ワークストリームでは「アジャイル手法」を標準として取り入れていますので、将来アジャイルベースでの開発を計画している方々には参考になると思います。

Q4: 自社で開発した独自の導入方法論を所有していますが、SAP Activate の中でも有用と思われる機能は積極的に使っていきたくと考えています。必要な機能を選択して自社方法論と併用することは可能ですか？

A4: 可能です。SAP Activate はフレームワークとして提供されますが、コンポーネントはビルディングブロック形式になっており、特定の機能を選択して使用することが出来るように構成されています。

Q5: SAP Activate のアジャイル手法は PMI がプロジェクト管理のナレッジベース (PMBOK)として定義しているアジャイル理論との違いはあるのでしょうか？

A5: SAP Activate の中で定義されるアジャイル手法は PMI (下記)が標準として定義している PMBOK の知識ベースに準拠しています。従い基本部分での大きな違いはありませんが、細部では SAP 流の解釈が加えられています。例えばプロジェクト・フェーズの考え方は SAP 標準がベースとなっており、スクラムのベースとなるスプリント、エピック等の定義の仕方に SAP が提供する Best Practice のプロセスシナリオを意識した応用が加味されています。

(補足) PMIとは米国プロジェクトマネジメント協会を指します。プロジェクト管理に関する世界標準を推進している組織です。また、PMBOK はPMIが発刊しているプロジェクト管理に関するガイドブックです。

## SAP Project Manager育成トレーニング 参加者の声

### 受講者の方々からの生のフィードバック

弊社もアジャイル開発の方向にシフトしているので役立ちます

アジャイル開発に興味はありましたが、アプリ開発等に向いているものでERP (SAP) への適用は困難だと思っていましたが今回のトレーニングで十分にERP導入でも実現可能ということが理解できました。

説明内容については体験談、世間の情勢等も交えて頂き理解が進みました。

本当に今後、日本でもアジャイル型のプロジェクト導入方法が普及、浸透するのであれば入門編として今回のトレーニングへの参加が必須になると感じました。

わかりやすかったです。

体系だってSAPのすすめるアジャイルの導入方法を理解できた点は有意義でした。これにより、ウォーターフォールではありますが、プロトタイプを早いフェーズで実施することが昨今のプロジェクトでは多いことを回顧して、ある意味ではアジャイルの進め方に親和性がある部分を見出すことができました。

会社としてプロジェクトのプロセスマップや品質ガイドラインといったものは整備されていますがSAPに特化したものではないため今回特化したSAP導入方法論を受講でき非常に有意義でした。既存の会社のやり方もありますので、一概に今回のSAP Activateへ置き換えというのは困難ですが整理したうえで、取り込めるところは反映していきたいと思います。

講義は分かりやすく、SAP Activateの内容については理解できたと思います。

## SAP Project Manager育成トレーニング お申込み方法

### ◆ 一般開催トレーニング 1名から参加いただけます。開催日程は K2 ホームページ（下記）をご参照ください。

9:30 AM開始17:00に終了予定です。進捗度により多少終了時間が前後することがございます。途中1時間のお昼休みを含みます。

費用 **98,000 円**（お一人様）

\* 参加者はご自身の PC からZoomで コース参加となります。PC とインターネット接続の環境をご用意ください。

（ご注意）開催の為の最低限の参加人数に満たない場合には開催がキャンセルとなる場合があります。その場合には開催の2週間前にお申し込み頂いた皆様にメールにてお知らせ致します。（その場合にはキャンセル費用などは発生致しません。）

### ◆ 個別トレーニング 1社から5名以上がご参加の場合には個別開催としてご希望の日程にて調整可能です。詳しくはお問い合わせください。

#### トレーニングのお問い合わせ先

K2パートナーリングソリューションズ株式会社 <https://k2partnering.jp/k2-university.html>

代表電話番号 03-4588-2620

Email でのお問い合わせ : [k2uni-sap@k2partnering.com](mailto:k2uni-sap@k2partnering.com)